



～若き農業者の紹介～NO, 1



渋谷 優 (しぶや ゆう) さん 32歳
地 区：桐生市新里町

経営品目(経営面積)

水稲(6ha)、酒米(2ha)、ブロッコリー(2ha)
枝豆(1ha)、ちぢみほうれん草(0.4ha)

Q：就農のきっかけを教えてください



ブロッコリー収穫

A：元々は親が農業をしており、幼い頃から親の姿を見ていたため、興味を持ち、地元で農業を取組んでいる先輩からの誘いをきっかけに、農林大を卒業後、実家の跡継ぎとして就農しました。当時は祖父母が経営しており、養蚕を行っていたが、経営が悪化し、祖父母だけでは経営の軌道に乗らず、父が兼業農家として野菜経営に転換して安定させていきました。

現在は規模拡大と周年での作業により収益を上げて、安定的に収入確保されるようになりました。また、地元で何か出来ないかと感じ、「桐生市酒米生産組合」に入り、耕作放棄地を防ぐ取組み等を通じて地域の活性化を行っています。

Q：農家として作業している中での苦勞と喜びはどんなところがありますか？

A：地味な作業が多く、夏は炎天下の中、草刈りや農作業があるので過酷で辛いことも多くありますし、作物は待ってくれないので休みがなく重労働ではありますが、「ありがとう」「おいしい」と消費者さんから言われると励みとなり、またやった分だけ返ってくると思うとやめられません。



チヂミほうれん草収穫

Q：群馬用水の利用する中で要望などがあれば教えてください



インタビュー風景

なるほど!

A：新里地域は農業が盛んですが、地形が細長く、田畑の面積が小さいのでやりづらいのが現状です。区画整理をしてなるべく大きな面積を集約してもらえればもっと効率よく仕事ができると思うので期待しています。

群馬用水は水温が低く、水量調節ができるのが良い点であり、ゴミ詰まりが多いことは気になるが、群馬用水があることで水田に用水を安定的に供給できるので米作りなど農業には欠かせないものです。

Q：今後の目標をお願いします！

A：農業は自分でやりたいことができるのが魅力です。耕作放棄地を増やさないように少しずつ規模は増やしていきたいですが、まずは今ある面積に対して最大限収穫できるように知識、技術を学んでいきたいです。そして、今後も地域に貢献できるように農作業に励んでいきたいと思っています。

※現在「桐生市酒米生産組合」の副組合長として活躍しています



桐生市産『五百石』の製造に原材料として取れた酒米を活用している。

※群馬用土地改良区は、地域で頑張る若き農業者の方（新規就農者など）をご紹介して行き、群馬用水利用の促進など図っていきたいと思っています。皆さんも地域で活躍している方をご照会下さい。

賦課徴収課 027-251-0019